

GRS ぎふ

第47号

一般社団法人
岐阜県道路交通安全施設業協会TEL <058> 273-8566
FAX <058> 275-3620
E-mail: grs@nifty.ne.jp

安全安心な交通社会実現のために



岐阜県警察本部
交通部長

須貝 英男

一般社団法人岐阜県道路交通安全施設業協会の皆様におかれましては、日頃から交通事故防止をはじめとした交通安全対策に格別なご配慮をいただきますとともに、警察行政各般にわたり、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、交通安全施設の専門団体として、道路標識・標示の整備をはじめ、交通安全運動における広報啓発活動や交通安全施設の清掃奉仕活動に取り組まれるなど、よりよい道路交通環境の実現に向けた活動に御尽力いただいているところであり、重ねて感謝申し上げます。

さて、県下の交通情勢につきましては、本年11月末現在において、死者数は67名と、前年より12名増加しており、人身交通事故件数、負傷者数は減少しているものの、厳しい情勢にあります。交通死亡事故の特徴を見ても、全死者のうち6割強が高齢者の被害で高い割合を占め、歩行中・自転車乗車中の死者が約5割と、高齢者や歩行者等が被害となる事故が依然として発生しているところです。

県警察では、安全安心な交通社会実現のため、第11次岐阜県交通安全計画に掲げられた令和7年までに

24時間死者数60人以下、重傷者数350人以下という目標に向け、交通安全教育、交通指導取締り、交通環境の整備などソフト・ハード両面の対策を実施しております。

具体的には、交通事故を分析、データ化し、事故原因となった違反が発生しやすい時間帯やエリアを特定するなど、緻密な交通事故分析を行い、同分析結果に基づいた重点的かつ効果的な交通安全教育、交通指導取締り及び交通環境の点検整備に努めているところで

す。特に交通環境の整備では、通学路や生活道路対策として、ゾーン30にスムーズ横断歩道などの物理的デバイスを設置したゾーン30プラスの整備や横断歩道の塗り直し、高輝度化等による横断歩道の見える化、また持続可能な交通安全施設の整備に向けた対策として、警察庁インフラ長寿命化計画等に基づいた信号制御機の計画的な更新、災害に強い信号機電源付加装置やラウンドアバウトの整備など、様々な視点から交通安全施設等の整備に努めるとともに、交通環境の変化に即した交通規制の見直しなどに努めてまいります。

なお、安全安心な交通社会の実現には、警察だけでなく、関係機関や業界と連携し、官民一体となって対策を推進していく必要があると考えております。

最後に、貴協会並びに会員の皆様方におかれましては、引き続き交通事故防止に向けた取組みにご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会の益々のご発展を祈念申し上げますとさせていただきます。